

# ガバナンス〈G〉



## 透明性のある経営システムを構築・運用し、グループをあげてコンプライアンスを徹底。

社会から信頼される誠実な企業であり続けるために、豊田合成グループ全体でコーポレート・ガバナンスの充実を図っています。公正かつ透明性のある企業統治体制を構築・維持するために、社外取締役・社外監査役による経営の監視・監督の実効性を高めるとともに、業務の適正性・効率性を確保するための内部統制システムを全社で整備・運用しています。また、グループ全体でのコンプライアンス活動を通して法令遵守・企業倫理の徹底に取り組んでいます。

さらには、経営に重大な影響を及ぼす可能性のあるリスクを把握し、未然防止のためのリスクマネジメント活動を推進しています。

総合企画部担当本部長／調達本部長  
取締役副社長  
小山 享

## コーポレート・ガバナンス

### 基本的な考え方

持続的成長の実現のためには、企業経営の健全性と効率性の確保をねらいとしたコーポレート・ガバナンスの充実・強化が経営上の最重要課題と認識し、環境変化に的確に対応できる組織体制および公正かつ透明性のある経営システムを構築・維持することに努めています。

### 企業統治の体制

当社は、監査役制度を採用し、法定の機関として、株主総会・取締役会・監査役会・会計監査人を備え、併せて、内部監査をはじめとする内部統制システムを整備・運用しています。

取締役会は、取締役9名で構成され、毎月定期的に行われる取締役会(必要に応じて臨時取締役会)において、法定で定められた事項や経営に関する重要事項の報告・審議・決議がされています。

また、執行役員制度を導入し、意思決定と業務執行のスピードアップを図っています。経営の重要な事項については、経営会議を毎月開催し、さらに技術・原価・人事などの主要機能に関する機能会議体および各種委員会を適宜開催し、的確な経営判断を行っています。

監査役会は、監査役5名で構成され、監査役会を定期的に開催するとともに、取締役会をはじめとする重要な会議への出席や各部門・子会社の監査を通して経営監視の機能を果たしており、外部監査人である会計監査人による監査機能とあわせ、独立かつ公正な監査体制を確保しています。

また、豊田合成は金融庁・東京証券取引所が策定した「コーポレートガバナンス・コード」に賛同し、その理念や原則の趣旨・精神を踏まえたさまざまな施策を自立的に実践することで、コーポレート・ガバナンスの充実を図っています。

これらの機関設計に基づき、監査・監督・執行を連携して機能させ、会社の意思決定、業務執行の適法性と効率性が十分に担保されていることから、現在の体制を採用しています。

また、取締役会の監督機能を強化し、意思決定プロセスの客観性・透明性を高めるため、取締役会の任意諮問委員会として取締役会の下に「役員人事委員会」および「役員報酬委員会」を設置しております。両委員会の役割および委員構成は次の通りです。

名称	役割	構成員
役員人事委員会	取締役および監査役の選解任に関する議案の審議・答申	宮崎取締役社長(委員長) 土屋社外取締役 山家社外取締役 松本社外取締役
役員報酬委員会	取締役の報酬制度および個人別報酬の審議・答申	宮崎取締役社長(委員長) 土屋社外取締役 山家社外取締役 松本社外取締役

## 内部統制システム

当社は、会社法の規定に基づき「内部統制の整備に関する基本方針」を策定し、これに沿って重要事項の審議、関連規程・要領の制定と運用、内部監査、コンプライアンス、リスク管理などを含む内部統制システムを整備することで、

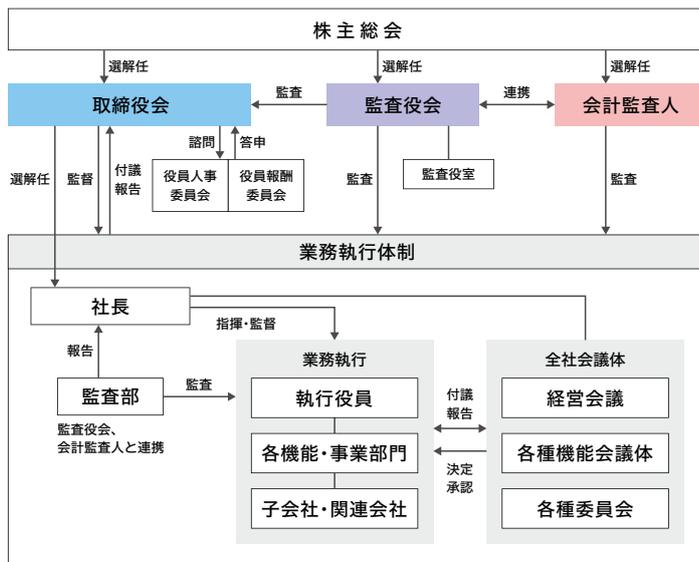
業務の適正を確保するための体制の構築と運用に努めています。内部統制の整備・運用状況については、毎年取締役会でその内容を確認し、更なる改善および強化に継続的に取り組んでいます。

## 豊田合成グループとしての内部統制

当社および子会社の健全な内部統制環境の醸成を図るため、グループ各社と「経営理念」を共有するとともに、共通のコンプライアンス上の指針である「豊田合成グループ行動憲章」を定め、子会社に展開する体制を整備しています。また、子会社の経営の自主性を尊重しつつ、定期的に事業

報告を受けるとともに、事前承認報告制度を通じて子会社の業務の適正性と適法性を確認する体制を整備しています。さらに、重要な子会社には非常勤取締役・非常勤監査役を派遣することで、子会社の業務執行を監視および牽制する体制を整備しています。

### コーポレート・ガバナンスの体制図



### 主な全社会議体

	会議体名	主管部門
経営会議体	取締役会	総務部
	経営会議	総合企画部
	販売会議	営業企画室
機能会議体	技術開発会議	技術管理部、生産技術統括部
	収益・原価会議	経理部
	生産会議	生産技術統括部
	調達会議	調達部
	人事会議	人事部
委員会	コンプライアンス・リスク管理委員会 (旧・企業行動倫理委員会)	法務部、総合企画部
	輸出管理委員会	総合企画部
	中央安全衛生委員会	安全健康推進部
	環境委員会	環境部
	品質委員会	品質保証部

## 内部監査・監査役監査・会計監査

内部監査については、監査部を設置し、経営目標の達成と不正・誤謬の予防を図ることをねらいに、期首に経営者に承認された内部監査計画に基づき、業務全般にわたる内部監査を実施しています(機能部による監査も含む)。

内部監査の結果は経営者に報告されるとともに、被監査部門に対しては監査結果に基づく改善勧告を行い、改善計画・改善結果を確認することにより、内部監査の実効性を高めています。

各監査役は、監査役会が定めた監査方針、計画に従い、当社および子会社に対し、調査を実施し、また、取締役会、経営会議などの重要な会議体・各種委員会に出席するほか、取締役などから事業の報告の聴取、決裁書類等重要な書類

の閲覧、事業所や子会社の往査など、適法性の確保、適正性の確保、財産・権利の保全、損失の未然防止の観点より、取締役の職務の執行を監査しています。なお、監査役監査を補助する専属の部署を設置しています。

当社の会計監査業務を執行した公認会計士は、山中鋭一氏および西村智洋氏であり、PwCあらた有限責任監査法人に所属しています。

監査役、内部監査部門および会計監査人は、それぞれの監査の体制、監査方針、監査計画、実施状況、監査結果などについて、定期的な会合を持つとともに、必要に応じ随時連絡を行い、意見交換と情報の共有化を図り、連携して効率的かつ効果的な監査を進めています。

## 社外取締役・社外監査役

豊田合成は、2019年6月14日開催の定時株主総会において、土屋総二郎氏、山家公雄氏、松本真由美氏の3名を社外取締役として選任し、また、三宅英臣氏を社外監査役として選任しました。在任中の内山田竹志氏および葉玉匡美氏を含めまして、社外監査役はあわせて3名を選任しております。

当社は社外取締役の選任にあたり、会社法上の社外性要件に加え、会社経営などにおける豊富な経験と高い見識を重視しております。社外監査役については、各々の専門分野や経営に関する豊富な経験と知見を有し、直接の利害関係が希薄で経営陣から一定の距離にある外部者の立場にある人物を選任しています。

社外監査役は、取締役会に出席し、取締役会の職務執行の状況について適宜説明を求めるとともに、経営監視の実効性を高める役割を担っています。また、適宜事業所および子会社を訪問し、直接的に監査を行うとともに、監査役会を通じて他の監査役と連携を取りながら、会計監査人および内部統制監査機能を含む内部監査部門とそれぞれの監査計画、実施状況、監査結果について定期的に会合をもち、必要に応じ随時連絡を行い、意見交換と情報の共有化を図り効率的かつ効果的な監査を進めています。

### 独立社外取締役および独立社外監査役の選任

役職	氏名	独立役員	選任の主な理由
社外取締役	土屋 総二郎	○	経営者としての豊富な経験と高い見識を当社の経営に反映していただくため。
	山家 公雄	○	政策金融および環境・エネルギー分野に携わってきた豊富な経験と高い見識を当社の経営に反映していただくため。
	松本 真由美	○	報道番組のキャスターおよび研究者として広く社会問題や環境・エネルギー分野に携わってきた豊富な経験と高い見識を当社の経営に反映していただくため。
社外監査役	内山田 竹志		経営者としての豊富な経験と高い見識を当社の監査に反映していただくため。
	葉玉 匡美	○	法曹界における豊富な経験と高い見識を当社の監査に反映していただくため。
	三宅 英臣	○	経営者としての豊富な経験と高い見識を当社の監査に反映していただくため。

### 社外取締役メッセージ

#### 激変する情勢下での『ONE TEAM, ONE TG.』を期待

2016年6月に社外取締役に就任しモノづくり、自動車業界、取締役と初めて経験するなかで、当社の誠実性、技術力とともに、多様な製品を多くの関係者がグローバルに展開するため一体感を重視している、と感じております。

私は、政府系金融機関での融資・調査等に従事した経験を基に、現在はシンクタンク・大学等で環境・エネルギー研究を専門としています。

中立的な立場での長期的な企業経営や事業の判断、激変するエネルギー情勢の予想・提言等の経験を活かし、アドバイス等に注力してまいります。



社外取締役  
山家 公雄

#### SDGsの取り組み、環境技術の動向を捉え、貢献していきたい

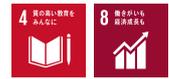
私はTV報道番組のキャスターや取材に携わり、2008年より東京大学で環境・エネルギー分野の研究・教育に携わってまいりました。その間、一貫して変わらないのは、現場に足を運び、人々の話を聞き、自分の目で確かめることを大事にしてきたことです。

豊田合成の経営理念「限りない創造 社会への奉仕」は、未来を切り拓く創造力と技術力を強みに、どんな時代でも困難を乗り越え、たえず前進していくスピリットであると信じています。

今後は、環境技術の動向を捉え、事業活動を通じたSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みにより企業価値の増大、成長に貢献してまいりたいと存じます。



社外取締役(新任)  
松本 真由美



## 役員報酬等について

取締役の報酬等は、基本報酬および賞与により構成しています。基本報酬については、株主総会で決議された上限の範囲内において、各々の職位等を勘案して決定しています。また、賞与については、業績等を考慮して金額を算定し、株主総会の決議を経て決定しています。

監査役の基本報酬は、株主総会で決議された上限の範囲内において、監査役の協議により決定しています。

## 取締役会の実効性確保

当社では、社外を含む全ての取締役および監査役に対して、取締役会事務局が、年に一回、取締役会の実効性についてのヒアリングを行い、取締役会の役割・責務や審議状況、実効性向上の機会など、複数の観点から評価を行った上で当該結果を取締役に報告しています。

## 株主・投資家とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様との建設的な対話の実現に向け、対話の機会のプランニングや必要な情報の共有など、連携を取りながら対応できる体制を整えています。

対話の手段として、社長および関係する役員が説明を行う機関投資家向け決算説明会や小規模の説明会（スモールミーティング）、担当役員が説明を行う機関投資家向け施設見学会、担当役員を含むIR担当者が機関投資家を直接訪問する投資家訪問などを実施しています。これらの機会を通じて得た、株主・投資家の皆様からの意見・要望などを基に、対話の機会のさらなる充実を図ってまいります。

当社は、フェア・ディスクロージャー・ルールを遵守し、決算発表前の期間は、サイレント期間として株主・投資家の皆様との対話を制限するとともに、社内の情報管理の徹

## 役員報酬等

役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額および対象となる役員の員数

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額(百万円)		対象となる 役員の員数(人)
		基本報酬	賞与	
取締役 (社外取締役を除く)	407	311	96	9
監査役 (社外監査役を除く)	76	76	-	2
社外役員	58	58	-	6

※賞与については、当事業年度における引当金繰入額です。

2018年度については、今回の評価の結果、実効性が十分に担保されていることを確認しました。なお、評価の過程で有意義な意見がありましたので、引き続き実効性の向上に向けて取り組んでいきます。

底を図っています。また、社内にインサイダー情報が発生する際には、当該インサイダー情報の管理を行い、情報管理の徹底を図っています。

## 主なIR活動

対象者	IR活動
国内機関投資家 (証券会社のアナリストを含む)	個別面談、決算説明会、施設見学会、テレフォンカンファレンス
海外機関投資家	個別面談、IRイベントへの参加
個人株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人投資家向け説明会</li> <li>株主総会後の工場見学会</li> <li>「業績のご報告」発行</li> </ul>

## コンプライアンス

### 基本的な考え方

経営理念で「私たちは、法令の遵守や企業倫理の徹底に向けた体制を構築し、誠実な事業活動を行います」と宣言し、コンプライアンスの徹底に努めています。

グローバルでの豊田合成グループ共通の価値観と行動規範として「豊田合成グループ行動憲章」を制定し、これ

を基に、さらに日本・海外のグループ会社がそれぞれの行動指針を具体化しています。当社では「豊田合成行動倫理ガイド」を従業員一人ひとりが遵守すべき行動指針として定め、全従業員に周知徹底しています。

## 推進体制

豊田合成では、社長を委員長とし、全役員をメンバーとする「コンプライアンス・リスク管理委員会」を組織し、各部門のコンプライアンス推進者ととも、経営と現場が一体となってコンプライアンスの徹底に取り組んでいます。

また、日本のグループ会社との間で、「コンプライアンス連絡会」を定期開催しているほか、海外のグループ会社でもコンプライアンス委員会や推進責任者の設置など、各地域・各社の実情に応じた推進体制を構築し、当社との連携のもと、コンプライアンス活動を推進しています。

## 具体的な取り組み

### ●コンプライアンス相談窓口

当社では、コンプライアンスに関する早期の問題吸上げと解決のため、社内・社外に「コンプライアンス相談窓口」や社内に「ハラスメント相談窓口」を設けています。

また、日本のグループ会社にも、各社の社内相談窓口に加え、当社と共通の社外コンプライアンス相談窓口を設置しています。海外のグループ会社でも社外又は社内に相談窓口を設置しています。

### ●コンプライアンス活動の点検・改善

当社では、毎年、全従業員に対して「コンプライアンス定着度アンケート」を実施し、コンプライアンスの浸透度や不具合の兆候がないか確認を行い、その結果に基づき改善活動を行っています。

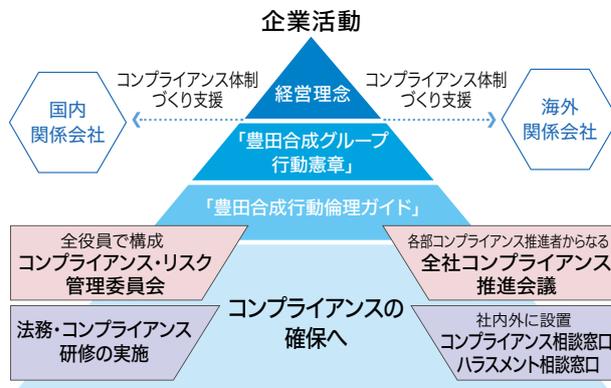
また、日本・海外のグループ会社に対して、自主点検シートにより、コンプライアンスの基本方針・体制のほか、競争法・贈収賄などの重要法令の遵守状況、人事・経理・営業・調達・安全・品質などの主要機能のリスクに関する点検を行い、その結果に基づき改善活動を行っています。

## リスクマネジメント

### 基本的な考え方

経営に重大な影響を及ぼす危機を未然に防止するとともに、万一発生した場合の被害の極小化を図ることを目的とし、コンプライアンス・リスク管理委員ならびに各種の全体会議体で各機能におけるリスクの把握および対応について意思決定を行っています。

## コンプライアンスへの取り組み



### ●競争法違反防止への取り組み

日本および海外グループが所在する主要な地域(アメリカ、EU、中国、タイ、インド、ブラジルなど)別にガイドラインを策定し、グローバルで豊田合成グループ全体での反競争的行為の未然防止に取り組んでいます。

また、当社では、営業活動を中心とする事業活動のさまざまな場面で従業員が取るべき具体的な行動指針を、社内規程の「独占禁止法遵守のための行動規程」として具体化し、従業員への遵守徹底を図っています。

その他、競争法に特化した研修や階層別の定期コンプライアンス研修などを通じて、継続的な啓発活動を行っています。

### ●贈収賄防止への取り組み

当社では、グローバルで透明かつ健全な事業活動を推進するための共通の指針として、「グローバル贈収賄防止ガイドライン」を策定し、当社グループ全体での贈収賄の未然防止に取り組んでいます。また、階層別・リスク別研修などを通じて、従業員への継続的な啓発活動を行っています。



コンプライアンス研修

安全・品質・環境などにおける各種リスクについては、担当部門が規程および要領を制定し、必要に応じて運用状況を評価した上で対策を実施するなど、適切な管理を行っています。

また、リスクに対する基本的事項を取りまとめた「危機

管理対応ガイド」を制定し、想定されるリスクに対する未然防止、および万一の場合に適切・迅速な行動をとるため

の対応事項を明記しています。

### 大規模地震を想定した「危機管理統括プロジェクト」

当社では、南海トラフ巨大地震などの大規模災害を想定して、「人命第一」「地域支援」「早期復旧」を基本とする危機管理体制を整えています。具体的には「危機管理統括プロジェクト」を中心にハード・ソフト面の対策に加えて、災害時の対応者のスキルが不可欠と考え、役員をはじめとする対策本部メンバーの「レジリエント訓練」(災害模擬演習)を2013年度から全社で延べ100回以上実施。また生産復旧体制の整備として、被災した建屋・設備・工程の復旧と

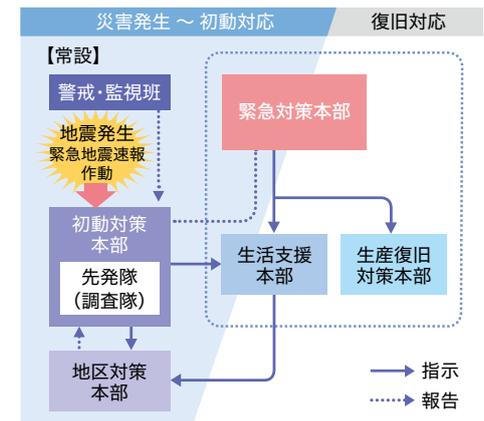
代替生産の手順の具体化を進めています。被災後も製品開発を継続できるよう、設計図面データなどの復旧訓練も行っています。さらに社内だけでなく関係会社・仕入先の危機管理強化の研鑽会を定期的実施。「地震対策実施状況チェック表」による評価、グラフ化による弱点の明確化、当社や他社の対応事例の紹介や事業継続計画書の作成協力などを行っています。

#### これまでの取り組み

区分	実施事項
ハード	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物・設備の耐震対策</li> <li>災害時の全社の対策本部基地となる防災センターの設置</li> <li>MCA無線<sup>※1</sup>、衛星電話の全拠点への配備</li> <li>危機管理サーバー(免震構造)、非常用発電機の設置</li> <li>DR<sup>※2</sup>、DC<sup>※3</sup>の運用</li> </ul>
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地建物安全判定の導入 ・サプライチェーン情報の整備</li> <li>タブレット型パソコンを使った多拠点同時テレビ会議システムの導入</li> <li>地震速報システム、安否情報システムの運用訓練</li> <li>出退勤・出張データを取り込んだ安否確認フォローアップシステムの運用</li> <li>事業継続計画書の作成</li> </ul>

※1 日常の業務から緊急・災害時までさまざまな用途で使用される無線  
 ※2 被害を受けたシステムを復旧・修復する体制(Disaster Recovery)  
 ※3 コンピュータやデータ通信などの装置の設置・運用に特化した施設の総称(Data Center)

#### 災害対応イメージ



### 情報セキュリティ対策の強化と意識向上

機密情報の管理強化のため「機密管理規程」に基づき全部門のルール遵守状況を年1回点検するとともに、現地監査も実施。国内グループ会社、海外拠点でも自主点検を行っています。また全部門に機密保持責任者を置き、「情報シ

ステムセキュリティ運用標準」や「機密情報管理のてびき」などを基に機密管理の啓発活動を行い、新入社員に対しては機密管理教育を行っています。

#### 対策例

区分	実施事項	
過失による漏洩防止	ハード	<ul style="list-style-type: none"> <li>複合機、図面専用印刷機のIDカード認証による印刷制限</li> </ul>
	ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>全パソコンのデータ暗号化</li> <li>電子メール社外送信時のセキュリティ措置(上司CC、添付ファイルの暗号化)</li> </ul>
悪意による漏洩防止	ハード	<ul style="list-style-type: none"> <li>監視カメラの増強</li> <li>PC盗難防止用ワイヤーロックの設置</li> <li>外部記憶媒体への書き出し制限</li> </ul>
	ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>機密保持の誓約</li> <li>物品持出申請の強化</li> <li>ファイルサーバーへのアクセス制限</li> <li>システム利用の記録、アクセス記録取得の監視</li> <li>不正侵入防止対策の強化(インターネット)</li> <li>外部からの持込端末の不正接続防止</li> </ul>
啓発活動(モラル対策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入社員教育</li> <li>チェックシートを使った全社機密管理自主点検</li> <li>各部門への現地点検実施</li> <li>標的型メールへの対応訓練</li> </ul>	

役員一覧 (2019年6月14日現在)



取締役社長  
宮崎直樹

1980年4月 トヨタ自動車工業株式会社入社  
2008年6月 トヨタ自動車株式会社常務役員  
2013年4月 同社専務役員  
2014年6月 当社取締役副社長  
2015年6月 当社取締役社長(現任)



取締役副社長  
橋本正一

1980年4月 トヨタ自動車工業株式会社入社  
2002年1月 当社入社  
2005年1月 当社セーフティシステム事業部技術部長  
2012年6月 当社執行役員  
2014年6月 当社常務執行役員  
2016年6月 当社専務執行役員、当社開発本部長(現任)  
2017年6月 当社取締役  
2018年6月 当社取締役副社長(現任)



取締役副社長  
小山亨

1982年4月 当社入社  
2005年1月 当社セーフティシステム事業部開発部長  
2012年6月 当社執行役員、豊田合成ノースアメリカ株式会社取締役社長  
2015年6月 当社常務執行役員  
2016年4月 当社総合企画部担当  
2016年6月 当社取締役、当社調達本部長  
2018年6月 当社専務執行役員  
2019年6月 当社取締役副社長(現任)、当社総合企画部担当本部長(現任)



取締役・執行役員  
山田友宣

1981年4月 当社入社  
2007年1月 当社第1営業部長  
2010年6月 当社取締役  
2012年6月 当社執行役員  
2014年6月 当社常務執行役員、当社営業本部長(現任)  
2016年6月 当社取締役、豊田合成(上海)管理有限公司(現 豊田合成(中国)投资有限公司)董事長(現任)  
2018年6月 当社専務執行役員、当社特機部管掌  
2019年6月 当社取締役・執行役員(現任)、当社特機部担当本部長(現任)



取締役・執行役員  
安田洋

1982年4月 当社入社  
2006年1月 当社セーフティシステム事業部企画部長  
2010年6月 豊田合成チエコ有限公司取締役社長  
2012年6月 当社執行役員  
2016年6月 当社取締役・常務執行役員、当社生産本部長(現任)、当社樹脂製品生産センター長、天津豊田合成有限公司董事長  
2017年6月 当社品質保証本部管掌  
2018年6月 当社取締役・専務執行役員  
2019年6月 当社取締役・執行役員(現任)、当社安全健康推進部・環境部担当本部長(現任)



取締役・執行役員  
岡正規

1985年4月 トヨタ自動車株式会社入社  
2012年9月 同社経理部主査  
2014年1月 同社関連事業室室長  
2015年1月 当社顧問  
2015年6月 当社執行役員、当社経理部長、IT推進部担当  
2016年6月 当社経理本部副本部長、当社監査部担当  
2017年6月 当社経理本部長(現任)  
2018年6月 当社取締役・常務執行役員、当社IT本部長(現任)  
2019年6月 当社取締役・執行役員(現任)、当社監査部担当本部長(現任)



社外取締役  
土屋総二郎

1975年4月 日本電装株式会社入社  
2002年6月 株式会社デンソー取締役  
2004年6月 同社常務役員  
2007年6月 同社専務取締役  
2011年6月 同社取締役副社長  
2013年6月 同社顧問技監  
2015年6月 当社取締役(現任)、株式会社デンソー顧問



社外取締役  
山家公雄

1980年4月 日本開発銀行入行  
2007年4月 日本政策投資銀行審議役  
2009年7月 エネルギー戦略研究所株式会社取締役研究所長(現任)  
2016年6月 当社取締役(現任)



社外取締役  
松本真由美

1987年10月 株式会社テレビ朝日  
契約キャスター  
1993年4月 日本放送協会  
契約キャスター  
2003年7月 株式会社ホリプロ専属  
フリーアナウンサー  
2008年5月 東京大学先端科学技術  
研究センター協力研究員  
2009年5月 同センター特任研究員  
2011年4月 特定非営利活動法人  
国際環境経済研究所理事・  
主席研究員(現任)  
2014年4月 東京大学教養学部附属  
教養教育高度化機構  
環境エネルギー科学特別部門  
客員准教授(現任)  
2017年7月 特定非営利活動法人  
再生エネルギー協議会理事  
(現任)  
2019年6月 当社取締役(現任)



常勤監査役  
田辺勝巳

1981年4月 トヨタ自動車販売株式会社  
入社  
2006年1月 トヨタ自動車株式会社  
ヨーロッパ部事業室長  
2012年1月 同社TME-Japan主査  
2013年1月 当社顧問  
2013年6月 当社執行役員  
2017年6月 当社常勤監査役(現任)



常勤監査役  
水谷均

1982年4月 当社入社  
2009年1月 当社経理部副部長  
2010年7月 TGミズーリ株式会社取締役  
副社長  
2015年1月 当社経理部長  
2015年6月 当社経理部副部長  
2016年6月 当社常勤監査役(現任)

執行役員

石川卓  
大西亮  
藤田佳幸  
加古純一郎  
福井博規  
Todd Huber  
平山博康



社外監査役  
内山田竹志

1969年4月 トヨタ自動車工業株式会社  
入社  
1998年6月 トヨタ自動車株式会社  
取締役  
2001年6月 同社常務取締役  
2003年6月 同社専務取締役  
2005年6月 同社取締役副社長  
2012年6月 同社取締役副会長  
2013年6月 同社取締役会長(現任)  
2018年6月 当社監査役(現任)



社外監査役  
葉玉匡美

1993年4月 検事任官  
2006年10月 東京地方検察庁特捜部検事  
2007年4月 弁護士登録、  
TMI総合法律事務所  
パートナー弁護士(現任)  
2008年4月 上智大学大学院法学研究科  
教授  
2012年3月 弁護士法人TMI/パートナーズ  
代表社員  
2014年6月 当社監査役(現任)



社外監査役  
三宅英臣

1968年4月 豊田鉄工株式会社入社  
1993年6月 同社取締役  
1999年6月 同社常務取締役  
2003年6月 同社専務取締役  
2005年6月 同社取締役社長  
2011年6月 同社取締役会長  
2015年6月 当社監査役(現任)  
2016年6月 豊田鉄工株式会社相談役  
(現任)